



編集：社会福祉法人 かながわ共同会 秦野精華園・家族会

住所：秦野市南矢名3-2-1 電話：(0463) 77-8811 発行責任者：山根 文江

地域生活支援課では、秦野市、伊勢原市、平塚市にまたがって現在12ヶ所のホーム運営をしており、57名の方が利用されています。

個々の障害程度、ホームにより支援の仕方や雰囲気は違いますが、楽しんで生活するをモットーに職員・支援者が日夜業務に励んでいます。

ホームでの生活スタイルについては、「地域」での生活を意識し、家庭に近い形でのサービスを一番に目指しています。具体的には、門限を設定しない、個々の時間に合わせた食事提供、自主性を尊重した余暇支援など、利用者に普通の生活を送って頂けるよう心がけています。また、地域の自治会に加入し、市民体育祭、市内一斉清掃、総合防災訓練などの活動にも参加しています。



利用者の生活を一騎当千の職員たちが、時に優しく、時に厳しく支援して、共に楽しんでいます。職場は常に笑いに包まれ、仕事の大変さもお笑いパワーで吹き飛ばしています。ぜひぜひ、ホームに遊びに来て下さい。

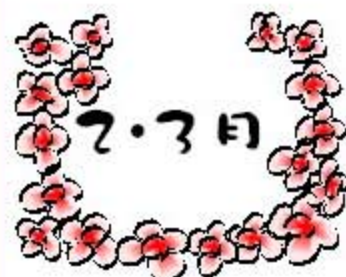
地域生活支援課長 奥池 誠治

写真は1月にオープンしたホーム「ももくり」の外観(上)とリビング(左)

133号

春は出逢いの季節

- 「秦野市生活介護事業所(仮称)」等の開設について
- ラポールセイカからのお知らせ
- ためになる話
「キャップからグリーンニューディール政策まで」
- 実践レポート「人権フォーラムかながわ21」
- 私のコラム
- 後援会コーナー
- 家族会だより
- インフォメーション



「秦野市生活介護事業所（仮称）」等の開設について



秦野市は、障害者地域活動支援センターひまわりを廃止し、民間事業所への移行を実施します。このため市はプロポーザルを実施しました。

かながわ共同会は、施設の開設が秦野市の地域の福祉の拠点となること、また適正な運営が見込まれることから、次のような内容の企画提案により応募したところ、審査の結果、1月18日企画提案が採用されました。そこで、かながわ共同会が、秦野市生活介護事業所（仮称）として開設することについてお知らせします。

1、開設する事業所

生活介護事業所（20人規模）、日中一時支援の「レスパイトほっと（10人）」及び秦野市地域活動支援センター（10人）等を併設とした日中支援事業とし、秦野市の地域福祉拠点のひとつを目指します。

2、開設する事業場所

もと秦野市立本町保育園跡地（秦野市本町三丁目13-1）の市有地（1827.66㎡）で、市からの借り受けをします。

3、開設する時期

平成24年4月1日 施設運営開始を予定しています。

この事業は、かながわ共同会秦野精華園が取り組みます。そうしたことから、秦野精華園は施設の開設のため、職員を中心とした関係者で構成する「秦野市生活介護事業所（仮称）等の開設プロジェクト」を設置しました。また、行政からの情報と指導を受けながら開設に向けての事業計画を作成し、スムーズで期待に応える開設が実現するよう取り組んでいます。

その計画の基本的な内容と概要、そして取り組みの基本理念は次のとおりです。

1、基本的な内容と概要

まず、地域や地元自治会への理解をいただき、開設するための意見や協力をいただくことや、ひまわりの保護者及び利用者さんへの説明を実施し、理解をいただきます。

平成23年度には工事を着工し、平成24年4月1日には施設運営の開始を予定しています。

また、開設する施設の概要ですが、福祉基準に適合することはもちろんとして、利用者さんの気持ちや地域の方々にもやさしく溶け込むことができる平屋の木造建てとします。さらに、利用者さんが快適で負担の少ない余裕のあるスペースの確保した施設を考えています。

2、かながわ共同会の基本理念の遵守

建設施設は、法人の理念である利用者さん本位の支援を主軸とするかながわ共同会の基本理念を遵守し、地域活動センター事業を主体に、秦野市の地域福祉政策に応えることの出来る活動支援の拠点のひとつとなる施設を考えています。

運営については、適正な経営を維持しながら、看護師の配置（兼務）や送迎の実施、専門スタッフの調理による配食、本体施設の行事への参加など利用者さんに配慮した支援を実施します。

また、支援の実施として、現在法人が取り組んでいる個人情報の保護、虐待の防止、人権の尊重、地域との交流活動や、行事の呼びかけなど積極的に行える体制及び施設といたします。

現在の「ひまわり」は耐震の対応のため、2年4月から、秦野市保健福祉センターに仮移転します。この施設の開設は、かながわ共同会が取り組む大きな事業の一つですが、職員一同、福祉の発展のため組織を上げて取り組んでいきますので、皆様のご理解ご協力の程よろしく
お願いいたします。
(土橋貞夫)

2年間はこちらのセンターに
仮住まい！お世話になります！





いつもお買い上げありがとうございます

地域での販売が定着してきたラポールセイカ。最近問い合わせの多い販売予定や、販売の様子をお知らせします！



平成20年の1月の中栄信用金庫前販売から、本格的にスタートしたRapport Seikaの外部販売は今年で3年目を迎えます。販売車や専用テントを用いた無店舗外部販売方式を基本として、秦野市内を中心に事業を展開してきました。そして、本年度待望の常設販売所を秦野精華園内ラポールセイカに設置することができました。これにより、地域の方々へ毎日、自慢のパンを販売することが可能となり、Rapport Seikaのパン作りも新たな段階に入りました。開店して間もないため、近隣のお客様のパン購入に関するニーズなどを現在は販売を通して情報収集している状況です。今後はこの1年で情報収集した事柄を整理し、よりお客様のニーズに応えられるようにしていけたらと考えています。

また、屋外でのパザー形式の販売については秦野精華園職員全体で支えあい実施しています。春夏秋冬様々な気候にも負けずに職員一丸となって美味しいパンを地域の方々にお届けできたらと思います。
(チャレンジセンター；中山浩)



1週間の販売スケジュール

- ・ **火曜日…若木保育園** 16:30~18:15
若木保育園さんを利用しているご家族向けの販売です。若木保育園スタッフさん(大好評発売中！)
- ・ **水曜日…みどり子ども園** 17:00~18:00
南中学校隣とみどり子ども園さんの入り口での販売です。
みどり子ども園利用のご家族の他、通りかかると近隣の方々もパンを購入していただけます！
- ・ **第一、第三水曜日…秦野市役所駅前連絡所** 11:30~14:30
東海大学前駅南口の駅前連絡所窓口秦野市障害者事業推進センター主催の販売です。
- ・ **金曜日…中栄信用金庫前** 9:30~14:30
駅前を歩き来する方々に大好評！黒糖生地とレーズン生地を使用したパンがおすすめです！
- ・ **土曜日…マルハン平沢店** 11:00~13:30
2月中旬より販売時間が変更となります。マルハンさんを利用されている方を対象にした販売です。
- ・ **毎月11日…ジャスコ秦野店** 9:00~17:00
秦野市障害者事業推進センター主催の販売です。秦野市内事業所と合同で販売中！
- ・ **月曜日～金曜日** 10:00~17:00 **喫茶ラポールセイカ**
近隣の方々を対象に園内常設販売所としての販売です。イートインも可能。喫茶と合わせてどうぞ！
- ・ **火曜日&木曜日** 12:00~13:30 **東海大学・春期学内販売**
今年も4月20日より東海大学の学内にて自立支援プロジェクトの学生を中心として販売を行います。



ためになる話

キャップからグリーンニューディール政策まで



日中支援1課 小林 智

かれこれ2年前の夏も迫った6月。私は実行委員長としてはばたき祭のテーマを考えていました。かたや米国で膨れに膨らんだバブルが世界規模の金融危機を静かに内包し、その身をいつ弾かんとする中、他方で中東諸国では多くの犠牲の上に成り立つはずの大儀が砂漠のオアシスのように霞む中、『秦野精華園は、ばたき祭では、一体何が出来るか?』と、それまで全く働いてくれなかった私の大脳内のシナプスを総動員して会議を行った結果、生まれたテーマが『エコ大根 (おおね)』でした。

『祭りもエコも全員参加』

今日、先進国では国をあげたエコ技術の開発や支援、環境対策協議など、国家レベルでのエコ活動が行われています。このように時代の潮流 (マクロ) としてのエコは、地球に住む我々全員 (ミクロ) が参加してはじめて、特別ではない無意識の行為 (エコ) になるのだと私は考えました。

さて前置きが長くなりましたが、実行委員長として、はばたき祭に来てくれた人も参加出来るエコ…もっと大切だったのが秦野精華園の利用者さんが参加出来るエコを考えた時に思いついたのが、このエコキャップの回収でした。利用者さんが毎日飲むジュースについているキャップ800個で、発展途上国に住む子供のポリオワクチン1人分がエコキャップ推進協会を通じて購入・寄付することが出来るのです。捨てていたキャップ1kg (400個) が焼

却されると3.16kgのCO₂が発生してしまっています。

『捨てれば環境汚染…をワクチンに変えて命を救う』

インターネット上にある掲示板の中に住む“名無し”と呼ばれる人達はこの運動を『あまりにも作用が少ない非効率な運動』だとか揶揄しますが、私はジュースを飲んだその人がこの小さなキャップ1つを回収ボックスに入れるか、入れないか考えた瞬間、その刹那 (ミクロ) にエコを感じてくれることが、鳩山首相の「温室効果ガスを2020年までに1990年比25%削減する」という目標や、オバマ大統領の掲げたグリーンニューディール政策などといった大きな目的 (マクロ) に繋がる行為だと考えるのです。

『塵も積もれば山となる』

諸事情 (天候) により2年連続実行委員長をやらせていただき、エコキャップ回収も丸2年経過し、1課のいたるところにキャップの入った袋が山積され苦情の声もちらホラと聞こえはじめた頃の昨年12月、記念すべき第1回目のキャップの納入に南足柄にある「南開工業株式会社」に行ってきた。2年間で集まったキャップの数、約38,800個…その重さ97キロ!! 485人分のワクチンを寄付することが出来ました。本当にありがとうございました! なおこの秦野精華園の回収実績はエコキャップ推進協会のホームページ内の【回収実績都道府県別】で確認する事ができます。(http://ecocap007.com/pdf/carkai_syu_pre.pdf の536ページ目)

今後もエコキャップの回収は行います。あなたの善意を1課の入口前にあるエコキャップ回収ボックスでお待ちしています!

南開工業株式会社
神奈川県南足柄市橋下350



実践レポート

「かながわ共同会人権フォーラムかながわ21」のあゆみ



法人事務局企画研修部長
丹羽 つねみ

かながわ共同会が「人権フォーラムかながわ21」を開催して今回で4回目となります。この取り組みは、神奈川県内で、知的障害者の権利擁護活動を牽引してきた、当法人の理事であった故田代哲郎前厚木精華園長の意思を引継ぎ、法人として、今後も知的障害者が人権が護られ、主体的に暮らすための土壌の育成に力を尽くすために開催してきました。

第1回は、平成19年3月20日に横浜市で開催しました。「なぜ人は虐待するのか」というテーマで、全日本手をつなぐ育成会理事の野沢和弘氏の講演と「施設における利用者中心・利用者主体の支援とは何か」というシンポジウムを行いました。障害者の人権を守るべき立場のわれわれ施設職員が、陥りやすいリスクについて考えようという取り組みでした。第2回は伊勢原市での開催。パネリストとして登場した3人の当事者の皆さんが、自らの言葉で自分の夢や思いを語る姿に、自己選択、自己決定を保障していくことが、障害者の尊厳を守ること、すなわち人権擁護活動そのものになるのだと、参加者の皆さんに感じていただけたことと思います。



第2回目を開催し、企画する側として当事者の皆さんの活動する姿を広く伝えていくことが、障害者理解を深めることにつながるのではないかとのお思いで、第3回は「命の響き～生きる力を応援する～」というテーマで厚木市での開催でした。障害者が太鼓やダンスという表現方法を使い、自らを生き活きと表現している姿に多くの参加者の皆さんが、「元気をもらった」と感想を寄せてくださいました。障害があってもできることがたくさんあるということ、不便だったり、不自由だったりすることも少しの支えや理解で乗り越えられる

ことが、多くの皆さんに実感していただけたのではないのでしょうか。

私たちが暮らす街で少し手を貸すことが、少し気かけ合うことが、障害者の皆さんが地域の中で自分らしく暮らすことができることにつながることを理解してもらえると、今年も秦野市で「人権フォーラムかながわ21」を開催しました。言葉にならない小さな、小さな声にも耳を傾けていくことで、その声はだんだん大きくなり、やがてちゃんと自己主張していくようになることを、今回のドキュメンタリー「1/4の奇跡」や「うすいまさとさん」のコンサートで理解していただけたら、また少し地域が豊かな土壌になるのではないかと思います。私たちかながわ共同会は、知的障害者支援という福祉サービスを担う者として、今後も知的障害者理解、とりわけ障害者の人権擁護のための活動を続けて行きたいと考えています。



家族会だより

☆ 定例会・行事のお知らせ ☆

・4月24日(土) 10時～

平成22年度定期総会終了後、定例会

☆ 園から ☆

1月 定例会 ワンポイント 報告

・新年の挨拶、当園での新型インフルエンザの状況について、地域活動支援センター「ひまわり」の民間移行について、第12ホーム開所のお知らせ。

2月 定例会 ワンポイント 報告

・新型インフルエンザ予防接種について、秦野市植樹祭に向けての協力(どんぐりの苗木・プランターの預かり)について、秦野市大根左殿線桜の木植樹(秦野精華園20周年記念)について…3月7日(日)10時から植樹、障害者総合福祉法についての情報

3月 定例会 ワンポイント 報告

・平成21年度の取組状況と22年度の重点目標について、生活サポート保障制度の改正について、異動・退職職員挨拶

☆ 新年会 報告 ☆

1月16日(土) 定例会終了後 開催

『笑う門には福来る』今年も皆様にとって良い年でありますように…

前日から役員たちが作った『けんちん汁』、家族会の会員手作りの『お汁粉』、和紙で折った『はし入れ』…いかがでしたか?

1課男性職員さんと3課の女性職員さんによる『二人羽織』のパフォーマンス、とても面白かったですね!その後のピンゴ大会でも盛り上がり、会場内が笑い声でいっぱい楽しい1日でした。皆さんありがとうございました。



☆ 人権フォーラムかながわ21 報告 ☆

みんなのこえ ～言葉にならない思いを伝えたい～

映画と「トーク&ライブショー」というプログラム構成の4時間。養護学校の先生と生徒の心と心のふれあいを通して命の大切さ、生きている意味を考えさせられる感動の映画でした。

また、実際に3人の障害を持つ子供の父親として、日常生活での苦労や貴重な体験を「歌」という媒体を通して広く社会に理解してもらおう活動を行なっている「うすいまさとさん」。誰もが皆、自分に出来る方法で「障がい」についての理解を広げてもらえるように活動していくことの大切さを痛感しました。ひとりひとり小さな力でも、それが最後に大きな力となり、社会を変えていけるようになればいいな…と思いました。

☆ 家族会 日帰り旅行 報告 ☆

2月9日(火) 東京・浅草方面へ…2月だというのにぼかぼか陽気の中、バスは一路東京方面へ。車内は往路からみんなのおしゃべりで盛り上がり、あっという間に日の出桟橋到着。豪華クルーザーに乗り換えて浅草まで、様々な形の12の橋をくぐり、両



岸の景色を眺めながら40分間の隅田川クルージングを楽しみました。春を思わせるような温かい海風は心地よく、船の後を追いかけてくるカモメたちとしばし戯れ…お腹がすいた頃にはランチ…浅草で一番美味しい(?)と評判の『天ぷら定食』をいただき、その後、仲見世通り散歩。お土産を買ったり、甘味を食べたり…参加者の皆さんから『とても楽しかった』、『お天気が良くて本当に良かった』等の感想をいただきました。来年も楽しい企画を予定しています。皆さんもご一緒にいかがですか?

4月24日(土)の定例会の前に、平成22年度定期総会があります。

・議事予定; 21年度事業報告及び決算報告、新年度役員改選、新年度事業計画案・予算案
総会には万障お繰り合わせの上、ご出席お願い致します。

尚、欠席の場合、委任状をご提出下さい。

桜の植樹!

3月7日(日) そぼ降る冷たい春の雨の中、市内を流れる『大根川』沿いの遊歩道脇に桜の若木が植樹されました。

これは平成22年5月23日に市内・戸川公園で開催される『第61回 全国植樹祭』にちなんで秦野市が広く市民に募った事業です。大根公園と大根川沿いの遊歩道脇に100本の桜の若木を植樹し、市民の憩いの空間とするというものです。一口10,000円で募った桜の木のオーナー制度ですが、申し込み開始と同時に「定員オーバー」と大人気。当園も『開園20周年記念』として1本、『家族会』、『後援会』で各1本ずつ計3本を申し込み、秦野市が行う記念事業にささやかながら協力させていただきました。それぞれの若木には金属製のプレートが取り付けられ、とても良い記念となりました。



また、『第61回 全国植樹祭』については、その事業の一つに『ドングリの苗木』の植樹がありますが、その苗木1,000本の育成を当園・園芸部門で引き受け、先日すくすく育った苗木を市に収めてきました。利用者にとっても「自分たちが日々大切に育ててきたドングリの苗木が丹沢の山に植えられ、自然環境の保護に役立ち、その恵みとして水資源に恵まれる」という循環に参加出来る…ということはとても貴重な経験であると考えます。これからも秦野市と協働しながら『市民』としての秦野精華園の役割を果たし、『障がい』についての理解を広げていけるよう活動していきたいと思います。(生活1課 新実和人)

『市民』としての秦野精華園の役割を果たし、『障がい』についての理解を広げていけるよう活動していきたいと思います。(生活1課 新実和人)

『障がい』についての理解を広げていけるよう活動していきたいと思います。(生活1課 新実和人)



いずれ立派な桜並木になることを願って、これからも手入れを続けて行きます。



お花見のお知らせ

日時：平成22年4月3日(土)
 11:30 ~ 14:00
 場所：当園グラウンドにて

ボランティアの皆さん、
 家族会の皆さん、
 職員も家族と一緒に
 是非ご参加下さい!!

編集後記

パソコンでの作業に専念苦闘の1年でしたが、とても勉強になりました。(城所ゆ)
 年度末、胸が一杯になる季節。別れと出逢い…皆さんお疲れ様、ありがとう!(市川)
 2年目の編集委員もアツという間でした。ご愛読ありがとうございました。(宮越)
 編集委員2年目で少しだけ、編集ソフトと仲良くなれた気がしました。(西木)
 不完全燃焼な一年でした…来年は頑張ります!(長澤)
 1年間のご愛読ありがとうございました。
 色々ありましたが健康が一番だとつくづく感じた1年でした。皆様も健康で!(小林さ)
 1年目ということで「仕事に慣れる!」がモットーの1年間でした。来年は今年より
 戦力になれるよう頑張りたいです。(山田か)
 かながわ共同会に幸願してはや2年。なぜか編集に関わり続けた2年。
 4月から「編集作業」から離れることになり…右肩を涼しい風が吹き抜けていくのを感じます。みんなありがとう!ホントにありがとう!

＜ださ〜い! 募集します〜!＞

- 【生活1課】
地デジ対応テレビ、ビデオデッキ
 - 【生活2課】
タンス、ベッド
 - 【生活3課】
オープントースター、ベッド、ソファ
 - 【チャレセン】
空缶、刷毛、タッパー
 - 【調理課】
白色のタオル
 - 【地域サービス課】
裁縫箱 ベビーブック(めばえ)
- 担当：地域サービス課
 土橋・鈴木までご連絡下さい。
 Tel: 0463-77-8814